

「平成 28 年熊本地震」の対応について（熊本大学附属図書館）

1. はじめに

熊本県では、4/14（木）21 時 26 分に最大震度 7（M6.5）の前震、4/16（土）1 時 25 分に最大震度 7（M7.3）の本震が発生。附属図書館全館（中央館、医学系分館、薬学部分館、旧館（黒髪共用棟））においても大きな被害が発生した。

地震発生から 7 ヶ月が経過した現在も完全復旧までには至っていないが、当館における業務再開状況等の震災対応について報告する。

2. 地震発生後直後の対応

（1）初期対応等について

○前震発生後

前震発生時、中央館は外部委託（丸善雄松堂（株））スタッフ 2 名により開館中であり、館内には 100 名程の利用者がいた。揺れがおさまった後、スタッフが利用者に対して書架等の危険な場所から離れて安全を確保するよう声をかけながら館内を回ったところ、図書の落下はあったが怪我人はいなかった。その後、余震がおさまった頃を見計らい、利用者に対して館外への避難誘導を行った。

地震発生から 20 分程経過した頃、図書館課職員 3 名が中央館に到着し、スタッフから地震対応の報告を受けた後に閉館措置を行い、被害状況を確認した（目視では図書の落下のみ確認）。確認後、緊急連絡網により状況を報告するとともに、職員の安否確認を開始した。

なお、前震発生時、医学系分館及び薬学部分館には、閉館後の時間外（24 時間）利用者はいなかった。

翌 4/15（金）は全館臨時休館とし、安否確認を継続して全員の無事を確認した。出勤した職員が建物の点検、落下図書の再配架を開始していたが、4/16（土）に本震が発生し被害が拡大した。

○本震発生後

4/16（土）朝から、あらためて緊急連絡網により当課職員の安否確認を行い、同日夕方には全員の無事を確認した。併せて参集した職員により被害状況を確認し、館長に報告した。各館とも 4/15（金）以降休館としていたことから、利用者の被害は無かった。

その後の対応については、次の（2）対策チーム設置に記載。

（2）対策チーム設置

4/18（月）に開催された臨時部局長等連絡調整会議において、学長（災害対策本部長）から、各部門に対して「平成 28 年熊本地震」対策チームを設置し復旧に必要な検討事項の洗い出しと今後の復旧工程表を作成するよう指示があり、これを受けて、同日、図書館長を隊長として図書館対策チームを設置し活動を開始した。

対策チームでは、毎朝、前日の活動報告と当日の復旧作業を確認するとともに、短期・中期・長期的な問題について検討を行った（地震発生から 1 月後の 5/16（月）からは月・木曜日に開催）。

3. 被害状況について

(1) 人的被害

利用者、職員、スタッフともになし。

(2) 物的被害

○建物

場 所	被 害 状 況
中央館	壁ひび割れ（多数）
医学系分館	壁・柱・天井等剥落（5ヶ所）、壁ひび割れ（多数）、天井・床水漏れ（7ヶ所）
薬学部分館	壁・床ひび割れ（多数）
旧館（黒髪共用棟）	壁・床ひび割れ（多数）

○書架

場 所	被 害 状 況
中央館	固定書架ボルト緩み3ヶ所、ハンドル式書架歪み1台、電動書架故障2ヶ所
医学系分館	書架倒壊4台（解体済、廃棄未）、書架歪み55台、電動書架故障88ヶ所
薬学部分館	ハンドル式書架歪み等10ヶ所
旧館（黒髪共用棟）	倒壊なし（目視による点検）

○図書等の破損等

場 所	被 害 状 況
中央館	23冊（破損）
医学系分館	100冊以上（破損及び水損）
薬学部分館	8冊（破損）
旧館（黒髪共用棟）	調査中（※古書が多いため）
研究室	182冊（水損）〈※5月末までの申出数〉
貸出図書	18冊（水損）〈※5月末までの申出数〉

○落下図書等

場 所	被 害 状 況
中央館	約70,000冊
医学系分館	約33,000冊（地下書架は修理前のため床に仮置中）
薬学部分館	約7,000冊
旧館（黒髪共用棟）	約10,000冊（床に仮置中）

○パソコン

場 所	被 害 状 況
中央館	キーボード足破損5台、ディスプレイ不具合1台
医学系分館	被害なし
薬学部分館	被害なし

○貴重資料

古文書等の被害なし。

(3) ライフライン

ライフライン	被害状況等
電力	通常どおり供給
上水道	一時停止、停止期間中は井戸水（地下水）で対応
都市ガス	一時停止、4月中に供給再開
エレベーター	【中央館業務用】安全確保のため一時使用中止後、4/21（木）から再開
図書情報システム	通常どおり稼働（インターネット上のトラブルなし）

4. 復旧作業の状況

(1) 地震発生～4月末

- 4/18（月）から図書館対策チームによる復旧活動を開始したが、当課職員・スタッフ全員が揃うまで1週間を費やした。
- 当面休館とし、まず施設担当部とともに各館の被害状況の確認（前述の「3. 被害状況について」参照）と危険箇所の把握を行い、併せて業者による書架等の点検を実施した。
- 東日本大震災の資料を参考にして、余震による2次災害の予防と職員の健康管理等に配慮しながら落下図書の再配架を開始した。
- 落下図書については、まず分類毎に整理して床に仮置。その後、書架の上部2段を残して再配架し、図書又は書棚を紐で括り余震に備えた。上部2段には、状況を見て残りの図書を配架した。
- 各方面から支援活動が始まり、当館としては、被災者の図書館利用に係る便宜供与を九州地区国立大学の各館にお願いした。
- 本学の授業再開日が5/9（月）となり、本学学生の学修の場を確保するため、中央館1階のラーニングコモンズを早期に開放することとし、連休前の4/28（木）までに整備した。

(2) 5月～

- 5/2（月）から中央館のラーニングコモンズ（パソコンコーナーを含む）を臨時的に開放。連休期間中は外部委託スタッフに加えて当課職員が交替で勤務し対応した。
- 5/2（月）医学系分館1階の倒壊書架4台を解体した。
- 5/9（月）からの授業再開に合わせ、学内外の利用者に対して次のとおり部分的に再開し、以後、復旧作業の進展に合わせて利用可能なエリア・サービスを順次拡大した。書架への立入については、ヘルメット着用の上、利用可とした。

【各館の再開状況】

○中央館

日 時	事 項	時 間 帯
5/ 2（月）	1階ラーニングコモンズ（PCコーナー含む）再開	平日 10:00～18:00 土・日・祝 12:00～18:00
5/ 9（月）	中地下多目的ラウンジ、南棟再開	〃
5/10（火）	2階閲覧室（大型本書架は一時立入禁止）、PCルーム再開	〃

5/23 (月)	開館時間延長 地下書庫再開	平日 8:40～18:00 土・日・祝 12:00～18:00
6/ 1 (水)	通常開館	平日 8:40～22:00 土・日・祝 12:00～18:00

○医学系分館

日 時	事 項	時 間 帯
5/10 (火)	2階閲覧室・グループ学修室B・PCコーナー再開	平日 9:00～17:00
5/17 (火)	2階図書書架再開	〃
6/ 1 (水)	開館時間延長 1階解体書架撤去、1階閲覧室・南側雑誌、2階雑誌・グループ学修室A再開	平日 9:00～19:00
6/20 (月)	通常開館	平日 9:00～21:00 土・日・祝 12:00～18:00 ※時間外利用は当面禁止
9/27 (火)	電動書架修理完了、1階北側雑誌再開	〃

○薬学部分館

日 時	事 項	時 間 帯
5/ 9 (月)	通常開館 (1階書庫の利用は当面禁止)	平日 9:00～17:00 ※時間外利用は当面禁止
7/19 (火)	1階書庫再開 (通常開館時のみ)	〃 時間外利用再開

5. 他大学等からの支援状況

熊本地震で被災した学生及び教職員に対する図書館サービス支援のメッセージが、地震発生の翌週から九州地区の大学及び東北大学の附属図書館HPに掲載され、4/21 (木) 以降は、国立大学図書館協会に「平成28年熊本地震への図書館サービス支援」として情報の取り纏めを引受けて頂き、支援の輪が全国に広がった。

支援して頂いた方々に対しては、授業再開日の5/9 (月)、当館HPに図書館長のお礼を掲載した。

6. 「平成28年熊本地震」に関する資料等の収集・保存

「平成28年熊本地震」に関連した資料を収集・保存・公開するため、6月中旬、当課内に震災記録WGを設置し、まず、熊本地震発生から3ヶ月経過した7/14 (木) に、当館HPで震災資料提供の依頼を開始した。(別添写真)

当館では、大学図書館として熊本地震に関する調査研究活動報告等の学術的な資料の収集に主眼を置いて収集活動に当たっており、熊本地震発生から半年経過した10/14 (金) には、当館HPに「熊本地震ライブラリ」を公開し、併せて震災資料の館内展示を開始した。(別添写真)

また、熊本県においても復興計画の中で「デジタルアーカイブ事業」が策定されており、11/16（水）には第 1 回熊本地震デジタルアーカイブ推進連絡会議が開催され、事業への協力・連携について依頼が行われた。

7. 今後の課題等

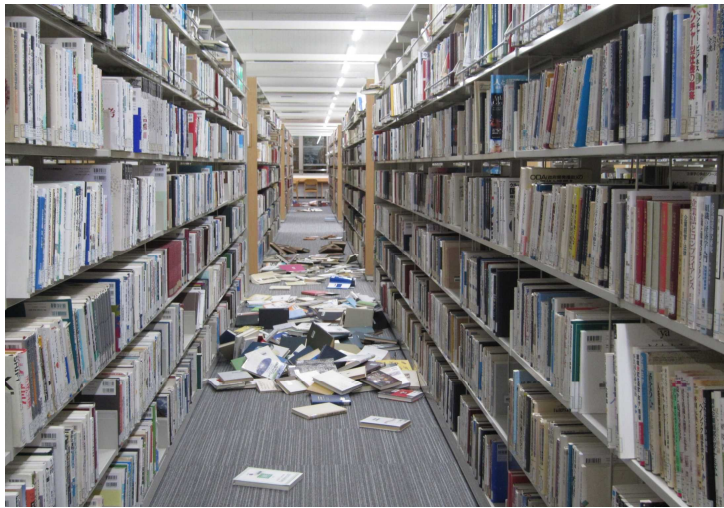
(1) 未復旧施設設備等の修復

- 倒壊・変形書架の修復（予算化されたが作業は年度末にかけて）
- 老朽化した旧館書庫の再整備
- 建替のため立入禁止とされている施設に残された図書の対応

(2) 「熊本地震ライブラリ」の整備・充実と熊本県「デジタルアーカイブ事業」との連携（人・モノ・カネへの対応）

— 以 上 —

2016. 4. 14 (前震直後) 撮影 中央館2F書架



2016. 4. 16 (本震当日) 撮影 中央館2F書架



2016. 4. 15 (前震翌日) 撮影 医学系分館1F書架



2016. 4. 18 (本震2日後) 撮影 医学系分館1F書架



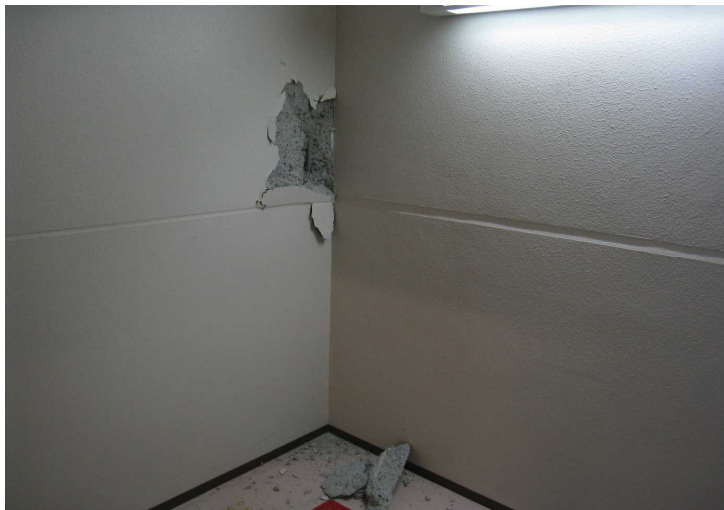
2016. 4. 18 (本震2日後) 撮影 医学系分館地下書架



2016. 4. 18 (本震2日後) 撮影 中央館玄関



2016. 4. 18 (本震2日後) 撮影 医学系分館階段 (剥落)



2016. 4. 18 (本震2日後)
薬学部分館2F天井(雨漏対応) 撮影

2016. 4. 19 (本震3日後) 撮影 中央館図書仮置作業



2016. 4. 22 撮影 医学系分館図書再配架作業



2016. 5. 10 撮影 中央館書架利用者対応



2016. 9. 15 撮影 中央館カウンター内壁 (ひび割れ)



2016. 10. 6撮影 中央館2F 書架上部つなぎ (壁固定部)



熊本地震に関する資料をご提供ください

熊本大学附属図書館では、平成28年4月14日(木)以降に発生しました一連の「平成28年熊本地震」に関連した各種資料を収集、保存し、公開することで、資料をご提供いただいた方と、将来それを必要とする方々との橋渡しができればと考えております。
ご提供いただいた資料は館内で保存・公開するほか、許可をいただけるものにつきましては、電子化してインターネット上で公開することを予定しています。詳しくは、下記問い合わせ先までお尋ねください。

【収集する資料】
平成28年熊本地震に関する各種団体・個人による

- ・図書、雑誌等の冊子
- ・論文
- ・講演会、学会、シンポジウム等の資料
- ・調査報告書、研究報告書
- ・ポスター、チラシ
- ・その他、平成28年熊本地震に関する資料

【問い合わせ先】
熊本大学附属図書館「熊本地震資料担当」
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-10-1
TEL: 096-342-2224 FAX: 096-342-2210
E-mail: shinsai@lib.kumamoto-u.ac.jp
<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/2075>

復興の意気や溢るる
Full of Kumamoto University Spirit
熊本大学
(真高専攻より)

地震発生から3ヶ月後に発信した震災資料提供の
お願い(チラシ)

地震発生から6ヶ月後に発信した熊本地震ライブラリ (HP)



2016. 10. 14撮影 中央館2F 震災資料展示コーナー

